



硬質ウレタンフォーム吹付工事

[独立気泡 30 倍発泡 硬質ウレタンフォーム吹付工事]

吹き付け硬質ウレタンフォームは、30 倍発泡前後のタイプと 70 倍～100 倍発泡の高発泡ウレタンといわれるタイプがあります。

ウレタンフォームは発泡倍率を高くすると中の気泡がつながってしまい、優位性である内部結露防止とカビ・ダニの繁殖防止効果が小さくなってしまいます（一部輸入製品で独立気泡の高発泡ウレタンもあります）。

そのため、当社では木造建築物に対しても基本的に 30 倍発泡硬質ウレタンフォームをご提案しています。

また、断熱材の種類に関わらず、ドイツの WUFI

http://f-ei.jp/archives/wufi_pro/000045.html

というシミュレーションソフトを使用し、一般ユーザーが日常生活（非定常計算）をする中で、カビやダニの発生原因になる内部結露が壁体内や屋根内部、床下などに発生していないかを判断するシミュレーションを行っております。人の目に触れない竣工後のコンクリートや木材にある余剰水分や経年蓄積水分なども考慮し、夏季逆転結露の蓄積も計算し見える化します。

シミュレーション結果次第では地域により、硬質ウレタンフォームであっても、ペーパーバリア（気密シートまたは調湿シートを使用し状況に応じて湿気をコントロールする）を同時にご提案することがあります。

特長

■ 高い断熱性

ウレタン樹脂で形成された独立気泡構造により、優れた断熱性能を示します。特にノンフロントタイプは気泡内が空気ですので、断熱性能の経年変化はほとんどありません。

■ シームレスな断熱層

断熱材の継ぎ目は結露、熱ロスの大原因となっていました。シームレスな断熱層は、熱や水蒸気の侵入を防ぎ、吹き付け硬質ウレタンフォームでは、シームレスな断熱層が得られます。

■ 強力な自己接着性

上述しましたようにポリエチレン、ポリプロピレン等以外では下地の材質を問わず、どんな対象物にも接着剤なしで強力に接着硬化します。

■ 作業の省力化と工期の短縮

施工現場での吹き付けのため、工期の短縮、人件費の削減、コストの低減を可能にします。

■ 耐水・耐湿性

独立気泡で構成されているため、吸水・透湿はほとんどありませんので、各地域でシミュレーションされた厚みで施工すると結露防止、カビ・ダニの発生防止に効果が出ます。

■ 耐薬品性

酸・アルカリ、油などにも強い耐薬品の性質を持っています。

お問い合わせ EDFS エディフィス 省エネテック株式会社

電話番号: 0422-26-6922 | メール: contact@edfs.co.jp | Web: www.edfs.co.jp

